

(様式6)

長井万恵 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目

Disease history and risk of comorbidity in the women's life course:
a comprehensive analysis of the Japan Nurses' Health Study baseline survey.

(女性のライフコースにおける疾患既往歴と併存疾患のリスク :

日本ナースヘルス研究ベースライン調査での包括的解析)

BMJ Open. 2015 Mar 11; 5(3):e006360. doi: 10.1136/bmjopen-2014-006360

Nagai K, Hayashi K, Yasui T, Katanoda K, Iso H, Kiyohara Y, Wakatsuki A, Kubota T, Mizunuma H.

論文の要旨及び判定理由

女性は、初経から妊娠・出産・閉経などのリプロダクティブヘルスに関連した事象により、さまざまなライフステージに特徴をもった疾病罹患を経験する。特に閉経以前は子宮内膜症や子宮筋腫などのエストロゲン依存性疾患が好発するが、閉経以降は高コレステロール血症や骨粗鬆症などエストロゲン減少に伴う疾患が好発する。

女性のライフステージにおける各疾患群との関連に関しては、子宮内膜症患者が後年卵巣がんを併発することが知られている。一方、女性の各ライフステージにおけるそれぞれの疾患の併存性に関する包括的調査は充分に行われていない。本研究では女性の大規模前向きコホート調査である Japan Nurses' Health Study (JNHS)のベースライン調査データを用いて女性における疾患の好発年齢、疾患並存性について調査を行った。

2001年から2007年に日本全国の看護有資格者女性の49,927名を対象に質問紙調査を郵送法で行った JNHS ベースライン調査のデータを用いて解析した。疾患既往歴調査は医師による診断の有無、初めて診断された年齢、現在治療の有無を調査した。

解析対象者48,632名の平均年齢は41.2歳であり、閉経者6,086名(12.5%)の平均閉経年齢は49.1歳であった。Kernel-smoothing法によって推定した疾患発生年齢のピーク(好発年齢)では、子宮内膜症(36.0歳)、貧血(36.0歳)、片頭痛(44.8歳)、子宮筋腫(44.8歳)ならびに子宮頸がん(44.8歳)が45歳未満の early-onset diseases であった。子宮内膜症、貧血、片頭痛ならびに子宮筋腫の early-onset diseases 4疾患との併存疾患の検討では、1) 子宮内膜症と卵巣がん、子宮体がん、脳梗塞、2) 貧血と胃がん、3) 片頭痛と一過性脳虚血性発作、骨粗鬆症、脳梗塞、狭心症、ならびに4) 子宮筋腫と大腸がんの Mantel-Haenszel 統合オッズ比が2以上であり併存リスクが高いことが示された。

以上より、本論文は early-onset diseases の既往のある女性は、後年に特定の疾患の発生リスクのあることが示され、early-onset diseases の既往を知ることは、後年におこる慢性疾患などのリスクを減少させる可能性が示された。本論文の研究成果は今後の疫学研究ならびに女性の健康の包括的支援に寄与するものと認められ、博士(保健学)の学位に値するものと判断した。

平成27年6月2日

博士後期課程用

審査委員

主査	群馬大学大学院教授 看護学講座	篠崎 博光	印
副査	群馬大学大学院教授 生体情報検査学講座	村上 博和	印
副査	群馬大学大学院教授 生体情報検査学講座	横山 知行	印

参考論文

1. Risk profiles for endometriosis in Japanese women: results from a repeated survey of self-reports.

J Epidemiol. 2015; 25(3):194-203. doi: 10.2188/jea.JE20140124.

Yasui T, Hayashi K, Nagai K, Mizunuma H, Kubota T, Lee JS, Suzuki S.

2. Pregnancy-induced hypertension is associated with maternal history and a risk of cardiovascular disease in later life: Japanese cross-sectional study.

Maturitas. 2013; 75(3):227-31. doi: 10.1016/j.maturitas.2013.04.002.

Kurabayashi T, Mizunuma H, Kubota T, Kiyohara Y, Nagai K, Hayashi K.

3. Effect of stamped reply envelopes and timing of newsletter delivery on response rates of mail survey: a randomised controlled trial in a prospective cohort study.

BMJ Open. 2012; 2(5). pii: e001181. doi: 10.1136/bmjopen-2012-001181.

Wakabayashi C, Hayashi K, Nagai K, Sakamoto N, Iwasaki Y.